TECHNICAL INFORMATION

ミラノ2K　Mシリーズ

初版：2020/4/1
改訂：

ソリッド色　ブロック塗装

Solid Color for Panel Repair

№	工程	作業内容	ポイント
1	下地処理	適用下地 自動車新車焼付塗膜、ｳﾙﾄﾗｻﾌｼﾘｰｽﾞ EDｼｰﾗｰPlus 足付け研磨 ﾌﾟﾗｻﾌ部　DRY P600～800 新車焼付塗膜部　DRY P600～1000	◆ ﾌﾟﾗｻﾌの研磨はP600～800ﾍﾟｰﾊﾟｰで丁寧に研磨すること ◆ ﾌﾟﾗｻﾌ研磨処理の際に素地が露出した場合には金属素地露出部に再度ﾌﾟﾗｻﾌを塗装すること
2	脱脂作業	溶剤系脱脂剤　ﾜｯｸｽｵﾌﾗｲﾄ	◆ ﾜｯｸｽｵﾌﾗｲﾄで油分・粉塵をきれいに除去する
3	調合	塗料調合　重量比 ﾐﾗﾉ2K　主剤　100 ﾘｱｸﾀｰ　80～120%	◆ 塗料使用前は十分に攪拌すること ◆ ﾊｲﾊﾟｰﾘｱｸﾀｰは100～120% ﾄｯﾌﾟﾘｱｸﾀｰは80～100%
4	ｶﾗｰﾍﾞｰｽ塗装	塗装回数　3～5回 1～4回目　ｾﾐｳｪｯﾄｺｰﾄ　90～95%隠蔽 5回目以降　ｺﾝﾄﾛｰﾙｺｰﾄ　～100%隠蔽	◆ ｺｰﾄ間ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾀｲﾑは十分に取ること
5	ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	23℃×10分以上	
6	ｸﾘﾔｰ塗装	各種ｸﾘﾔｰに準ずる	

スプレーガン設定

口径	ｴｱｰ圧	吐出量	ｶﾞﾝ距離	ﾊﾟﾀｰﾝ重ね
1.2～1.4mm	0.14～0.18MPa	1.5～2回転	15～20cm	3/5 - 4/5

ﾘｱｸﾀｰの選定（ｱｳﾀｰﾊﾟﾈﾙ1枚程度の場合）

	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃	40℃
ﾘｱｸﾀｰ5								
ﾘｱｸﾀｰ10								
ﾘｱｸﾀｰ20								
ﾘｱｸﾀｰ30								
ﾘｱｸﾀｰ40								

TECHNICAL INFORMATION

ミラノ2K　Mシリーズ

初版：2020/4/1
改訂：

ソリッド色　ボカシ塗装

Solid Color for Spot Repair

№	工程	作業内容	ポイント
1	下地処理	適用下地 自動車新車焼付塗膜、ｳﾙﾄﾗｻﾌｼﾘｰｽﾞ EDｼｰﾗｰPlus 足付け研磨 ﾌﾟﾗｻﾌ部　DRY P600～800 新車焼付塗膜部　DRY P600～1000	◆ ﾌﾟﾗｻﾌの研磨はP600～800ﾍﾟｰﾊﾟｰで丁寧に研磨すること ◆ ﾌﾟﾗｻﾌ研磨処理の際に素地が露出した場合には金属素地露出部に再度ﾌﾟﾗｻﾌを塗装すること
2	脱脂作業	溶剤系脱脂剤　ﾜｯｸｽｵﾌﾗｲﾄ	◆ ﾜｯｸｽｵﾌﾗｲﾄで油分・粉塵をきれいに除去する
3	調合	塗料調合　重量比 ﾐﾗﾉ2K　主剤　100 ﾘｱｸﾀｰ　80～120%	◆ 塗料使用前は十分に攪拌すること ◆ ﾊｲﾊﾟｰﾘｱｸﾀｰは100～120% ﾄｯﾌﾟﾘｱｸﾀｰは80～100%
4	ﾎﾞｶｼ剤塗装	ｱﾝﾀﾞｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅｰ塗装 塗装回数　1～2回 塗料調合　重量比 ｱﾝﾀﾞｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅｰ　100 ﾘｱｸﾀｰ　100～150%	◆ 薄く1～2回、ﾎﾞｶｼ部に塗装すること
5	ｶﾗｰﾍﾞｰｽ塗装	塗装回数　3～5回 1～4回目　ｾﾐｳｪｯﾄｺｰﾄ　90～95%隠蔽 5回目以降　ｺﾝﾄﾛｰﾙｺｰﾄ　～100%隠蔽 段ﾎﾞｶｼをする場合は、ﾘｱｸﾀｰにて100%希釈する	◆ ｺｰﾄ間ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾀｲﾑは十分に取ること ◆ 必要に応じてﾎﾞｶｼ剤を再度塗装すること
6	ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	23℃×10分以上	
7	ｸﾘｱｰ塗装	各種ｸﾘｱｰに準ずる	

スプレーガン設定

口径	ｴｱｰ圧	吐出量	ｶﾞﾝ距離	ﾊﾟﾀｰﾝ重ね
1.2～1.4mm	0.12～0.16MPa	1.25～1.75回転	10～15cm	3/5 - 4/5

リアクターの選定（アウターパネル1枚程度の場合）

	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃	40℃
リアクター5								
リアクター10								
リアクター20								
リアクター30								
リアクター40								

TECHNICAL INFORMATION

ミラノ2K　Mシリーズ

初版：2020/4/1
改訂：

メタリック・2コートパール色　ブロック塗装

Metallic・2 Coat Pearl for Panel Repair

№	工程	作業内容	ポイント
1	下地処理	適用下地 自動車新車焼付塗膜、ｳﾙﾄﾗｻﾌｼﾘｰｽﾞ EDｼｰﾗｰPlus 足付け研磨 ﾌﾟﾗｻﾌ部　DRY P600～800 新車焼付塗膜部　DRY P600～1000	◆ ﾌﾟﾗｻﾌの研磨はP600～800ﾍﾟｰﾊﾟｰで丁寧に研磨すること ◆ ﾌﾟﾗｻﾌ研磨処理の際に素地が露出した場合には金属素地露出部に再度ﾌﾟﾗｻﾌを塗装すること
2	脱脂作業	溶剤系脱脂剤　ﾜｯｸｽｵﾌﾗｲﾄ	◆ ﾜｯｸｽｵﾌﾗｲﾄで油分・粉塵をきれいに除去する
3	調合	塗料調合　重量比 ﾐﾗﾉ2K　主剤　100 ﾘｱｸﾀｰ　80～120%	◆ 塗料使用前は十分に攪拌すること ◆ ﾊｲﾊﾟｰﾘｱｸﾀｰは100～130% ﾄｯﾌﾟﾘｱｸﾀｰは80～100%
4	ｶﾗｰﾍﾞｰｽ塗装	塗装回数　3～5回 1～4回目　ｾﾐｳｪｯﾄｺｰﾄ　90～95%隠蔽 5回目以降　ｺﾝﾄﾛｰﾙｺｰﾄ　～100%隠蔽	◆ ｺｰﾄ間ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾀｲﾑは十分に取ること
5	ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	23℃×10分以上	
6	ｸﾘﾔｰ塗装	各種ｸﾘﾔｰに準ずる	

スプレーガン設定

口径	ｴｱｰ圧	吐出量	ｶﾞﾝ距離	ﾊﾟﾀｰﾝ重ね
1.2～1.4mm	0.12～0.18MPa	1.5～2回転	15～25cm	3/5 - 4/5

ﾘｱｸﾀｰの選定（ｱｳﾀｰﾊﾟﾈﾙ1枚程度の場合）

	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃	40℃
ﾘｱｸﾀｰ5								
ﾘｱｸﾀｰ10								
ﾘｱｸﾀｰ20								
ﾘｱｸﾀｰ30								
ﾘｱｸﾀｰ40								

TECHNICAL INFORMATION

ミラノ2K　Mシリーズ

初版：2020/4/1
改訂：

メタリック・2コートパール色　ボカシ塗装

Metallic・2 Coat Pearl for Spot Repair

№	工程	作業内容	ポイント
1	下地処理	適用下地 自動車新車焼付塗膜、ウルトラサフシリーズ EDシーラーPlus 足付け研磨 プラサフ部　DRY P600～800 新車焼付塗膜部　DRY P600～1000	◆ プラサフの研磨はP600～800ペーパーで丁寧に研磨すること ◆ プラサフ研磨処理の際に素地が露出した場合には金属素地露出部に再度プラサフを塗装すること
2	脱脂作業	溶剤系脱脂剤　ワックスオフライト	◆ ワックスオフライトで油分・粉塵をきれいに除去する
3	調合	塗料調合　重量比 ミラノ2K　主剤　100 リアクター　80～120%	◆ 塗料使用前は十分に攪拌すること ◆ ハイパーリアクターは100～130% トップリアクターは80～100%
4	ボカシ剤塗装	アンダーコンディショナー塗装 塗装回数　1～2回 塗料調合　重量比 アンダーコンディショナー　100 リアクター　100～150%	◆ 薄く1～2回、ボカシ部に塗装すること
5	カラーベース塗装	塗装回数　3～5回 1～4回目　ウェットコート　90～95%隠蔽 5回目以降　コントロールコート　～100%隠蔽	◆ コート間セッティングタイムは十分に取ること
6	セッティング	23℃×10分以上	
7	クリヤー塗装	各種クリヤーに準ずる	

スプレーガン設定

口径	エアー圧	吐出量	ガン距離	パターン重ね
1.2～1.4mm	0.10～0.16MPa	1.25～1.75回転	15～25cm	3/5 - 4/5

リアクターの選定（アウターパネル1枚程度の場合）

	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃	40℃
リアクター5								
リアクター10								
リアクター20								
リアクター30								
リアクター40								

TECHNICAL INFORMATION

ミラノ2K　Mシリーズ

初版：2020/4/1
改訂：

3コートパール色　ブロック塗装

3 Coat Pearl for panel Repair

№	工程	作業内容	ポイント
1	下地処理	適用下地 自動車新車焼付塗膜、ｳﾙﾄﾗｻﾌｼﾘｰｽﾞ EDｼｰﾗｰPlus 足付け研磨 ﾌﾟﾗｻﾌ部　DRY P600～800 新車焼付塗膜部　DRY P600～1000	◆ ﾌﾟﾗｻﾌの研磨はP600～800ﾍﾟｰﾊﾟｰで丁寧に研磨すること ◆ ﾌﾟﾗｻﾌ研磨処理の際に素地が露出した場合には金属素地露出部に再度ﾌﾟﾗｻﾌを塗装すること
2	脱脂作業	溶剤系脱脂剤　ﾜｯｸｽｵﾌﾗｲﾄ	◆ ﾜｯｸｽｵﾌﾗｲﾄで油分・粉塵をきれいに除去する
3	調合	塗料調合　重量比 ﾐﾗﾉ2K　主剤　100 ﾘｱｸﾀｰ　80～120%	◆ 塗料使用前は十分に攪拌すること ◆ ﾊｲﾊﾟｰﾘｱｸﾀｰは100～120% ﾄｯﾌﾟﾘｱｸﾀｰは80～100%
4	ｶﾗｰﾍﾞｰｽ塗装	塗装回数　3～5回 1～4回目　ｾﾐｳｪｯﾄｺｰﾄ　90～95%隠蔽 5回目以降　ｺﾝﾄﾛｰﾙｺｰﾄ　～100%隠蔽	◆ ｺｰﾄ間ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾀｲﾑは十分に取ること
5	調合	塗料調合　重量比 ﾐﾗﾉ2K　ﾊﾟｰﾙﾍﾞｰｽ主剤　100 ﾘｱｸﾀｰ　100～130%	◆ 塗料使用前は十分に攪拌すること ◆ 強化剤を入れること
6	ﾊﾟｰﾙﾍﾞｰｽ塗装	塗装回数　3～4回 1～3回目　ｾﾐｳｪｯﾄｺｰﾄ 4回目以降　ｺﾝﾄﾛｰﾙｺｰﾄ	◆ ｺｰﾄ間ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾀｲﾑは十分に取ること
7	ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	23℃×10分以上	
8	ｸﾘｱｰ塗装	各種ｸﾘｱｰに準ずる	

スプレーガン設定

口径	ｴｱｰ圧	吐出量	ｶﾞﾝ距離	ﾊﾟﾀｰﾝ重ね
1.2～1.4mm	0.12～0.18MPa	1.5～2回転	15～25cm	3/5 - 4/5

ﾘｱｸﾀｰの選定（ｱｳﾀｰﾊﾟﾈﾙ1枚程度の場合）

	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃	40℃
ﾘｱｸﾀｰ5								
ﾘｱｸﾀｰ10								
ﾘｱｸﾀｰ20								
ﾘｱｸﾀｰ30								
ﾘｱｸﾀｰ40								

TECHNICAL INFORMATION

ミラノ2K　Mシリーズ

初版：2020/4/1
改訂：

3コートパール色　ボカシ塗装

3 coat Pearl for Spot Repair

№	工程	作業内容	ポイント
1	下地処理	適用下地 自動車新車焼付塗膜、ｳﾙﾄﾗｻﾌｼﾘｰｽﾞ EDｼｰﾗｰPlus 足付け研磨 ﾌﾟﾗｻﾌ部　DRY P600～800 新車焼付塗膜部　DRY P600～1000	◆ ﾌﾟﾗｻﾌの研磨はP600～800ﾍﾟｰﾊﾟｰで丁寧に研磨すること ◆ ﾌﾟﾗｻﾌ研磨処理の際に素地が露出した場合には金属素地露出部に再度ﾌﾟﾗｻﾌを塗装すること
2	脱脂作業	溶剤系脱脂剤　ﾜｯｸｽｵﾌﾗｲﾄ	◆ ﾜｯｸｽｵﾌﾗｲﾄで油分・粉塵をきれいに除去する
3	ｶﾗｰﾍﾞｰｽ調合	塗料調合　重量比 ﾐﾗﾉ2K　主剤　100 ﾘｱｸﾀｰ　80～120%	◆ 塗料使用前は十分に攪拌すること ◆ ﾊｲﾊﾟｰﾘｱｸﾀｰは100～120% ﾄｯﾌﾟﾘｱｸﾀｰは80～100%
4	ﾎﾞｶｼ剤塗装	ｱﾝﾀﾞｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅｰ塗装 塗装回数　1～2回 塗料調合　重量比 ｱﾝﾀﾞｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅｰ　100 ﾘｱｸﾀｰ　100～150%	◆ 薄く1～2回、ﾎﾞｶｼ部に塗装すること
7	ｶﾗｰﾍﾞｰｽ塗装	塗装回数　3～5回 1～4回目　ｾﾐｳｪｯﾄｺｰﾄ　90～95%隠蔽 5回目以降　ｺﾝﾄﾛｰﾙｺｰﾄ　～100%隠蔽	◆ ｺｰﾄ間ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾀｲﾑは十分に取ること
5	ﾊﾟｰﾙﾍﾞｰｽ調合	塗料調合　重量比 ﾐﾗﾉ2K　ﾊﾟｰﾙﾍﾞｰｽ主剤　100 ﾘｱｸﾀｰ　100～130%	◆ 塗料使用前は十分に攪拌すること ◆ 必要に応じてｶﾗｰﾍﾞｰｽとﾊﾟｰﾙﾍﾞｰｽを混合し、ﾆｺﾞｼ塗装をすること
6	ﾊﾟｰﾙﾍﾞｰｽ塗装	塗装回数　3～4回 1～3回目　ｾﾐｳｪｯﾄｺｰﾄ 4回目　ｺﾝﾄﾛｰﾙｺｰﾄ	◆ ｺｰﾄ間ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾀｲﾑは十分に取ること ◆ 補修部の周囲に極力散らないように塗装すること ◆ 実車のﾊﾟｰﾙ感を確認しながら塗装すること ◆ ｶﾗｰﾍﾞｰｽのﾎﾞｶｼ際より塗り広げること ◆ 必要に応じてﾎﾞｶｼ剤を塗装しながらﾎﾞｶｼ塗装すること

8	ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	23℃×10分以上	
7	ｸﾘﾔｰ塗装	各種ｸﾘﾔｰに準ずる	

スプレーガン設定

口径	ｴｱｰ圧	吐出量	ｶﾞﾝ距離	ﾊﾟﾀｰﾝ重ね
1.2～1.4mm	0.12～0.18MPa	1.5～2回転	15～20cm	3/5 - 4/5

ﾘｱｸﾀｰの選定（ｱｳﾀｰﾊﾟﾈﾙ1枚程度の場合）

	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃	40℃
ﾘｱｸﾀｰ5								
ﾘｱｸﾀｰ10								
ﾘｱｸﾀｰ20								
ﾘｱｸﾀｰ30								
ﾘｱｸﾀｰ40								

TECHNICAL INFORMATION

ミラノ2K　Mシリーズ

初版：2020/4/1
改訂：

PPバンパー仕様

PP Bumper Application

№	工程	作業内容	ポイント
1	下地処理	適用下地 自動車PP素材ﾊﾞﾝﾊﾟｰ等 ﾌﾟﾗｻﾌの塗装は各ﾌﾟﾗｻﾌのPPﾊﾞﾝﾊﾟｰ仕様に準ずる 足付け研磨 ﾌﾟﾗｻﾌ部　DRY P600～800 新車焼付塗膜部　DRY P600～1000	◆ ﾌﾟﾗｻﾌの研磨はP600～800ﾍﾟｰﾊﾟｰで丁寧に研磨すること ◆ ﾌﾟﾗｻﾌ研磨処理の際に素地が露出した場合にはｱﾝﾀﾞｰﾌﾟﾗｲﾏｰｴｺおよびﾌﾟﾗｻﾌを再度塗装する
2	脱脂作業	溶剤系脱脂剤　ﾜｯｸｽｵﾌﾗｲﾄ	◆ ﾜｯｸｽｵﾌﾗｲﾄで油分・粉塵をきれいに除去する
3	調合	塗料調合　重量比 ﾐﾗﾉ2K　主剤　100 ﾘｱｸﾀｰ　80～130% ﾏﾙﾁｿﾌﾄﾅｰ　5	◆ 塗料使用前は十分に攪拌すること ◆ ﾊｲﾊﾟｰﾘｱｸﾀｰは100～130% ﾄｯﾌﾟﾘｱｸﾀｰは80～100%
4	ｶﾗｰﾍﾞｰｽ塗装	塗装回数　3～5回 1～4回目　ｳｪｯﾄｺｰﾄ　90～95%隠蔽 5回目以降　ｺﾝﾄﾛｰﾙｺｰﾄ　～100%隠蔽	◆ ｺｰﾄ間ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾀｲﾑは十分に取ること ◆ 色別の塗装仕様は別途参照
5	ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	23℃×15分以上	
6	ｸﾘﾔｰ塗装	各種ｸﾘﾔｰ《PPﾊﾞﾝﾊﾟｰ仕様》に準ずる	

スプレーガン設定

口径	ｴｱｰ圧	吐出量	ｶﾞﾝ距離	ﾊﾟﾀｰﾝ重ね
1.2～1.4mm	0.15～0.25MPa	2～2.5回転	15～20cm	3/5 - 4/5

ﾘｱｸﾀｰの選定（ｱｳﾀｰﾊﾟﾈﾙ1枚程度の場合）

	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃	40℃
ﾘｱｸﾀｰ5								
ﾘｱｸﾀｰ10								
ﾘｱｸﾀｰ20								
ﾘｱｸﾀｰ30								
ﾘｱｸﾀｰ40								